

2022年度事業および決算報告について

こくみん共済 coop 〈全労済〉（全国労働者共済生活協同組合連合会 代表理事 理事長：廣田 政巳）は、2023年8月29日（火）、東京国際フォーラム（東京都千代田区）にて「第140回通常総会」を開催し、2022年度計画経過報告、および2023年度計画設定などの諸議案が可決されました。

つきましては、2022年度事業・決算の概要について報告いたします。

I. 2022年度の取り組みの概要

2022年度は、「こくみん共済 coop 中期経営政策 2022-25 ～変革と創造～」の初年度として、お役立ち発想と共創活動にデジタル技術を取り入れた「新しいたすけあい」の創造・実践を開始し、めざす姿として設定した「3つの姿」にもとづき、さまざまな活動を展開しました。

1. 組合員・生活者との姿 ～寄り添う、身近な存在～

（1）こくみん共済 coop 公式アプリのリリース

契約内容の確認や共済金のご請求など、いつでもどこでもより便利にご利用いただくために、組合員との新たなコミュニケーションツールとして公式アプリを2023年5月にリリースしました。

また、WEBを通じた各種共済の加入・変更・継続の手続きができる機能を拡充しました。

（2）こくみん Life サポートの開始

もしもに備える「共済」に加え、事前の備え、事後のフォローと生活全般のサービスを提供する「生活設計サポート」により、暮らしを支える「こくみん Life サポート」を2023年5月より開始しました。

2. 協力団体・共創パートナー団体との姿 ～事業と運動の強固なパートナーシップ～

（1）お役立ち提案の展開

協力団体で実施する共済制度の充実をはかるため、団体生命共済の商品改定（2022年6月）を踏まえたお役立ち提案を展開し、協力団体との関係強化をすすめました。

（2）共済を通じた社会課題解決の取り組み

子どもたちをみんなで事故から守る「7才の交通安全プロジェクト」（マイカー共済の見積件数に応じた横断旗の寄贈）と子どもたちのすこやかな成長を応援する「こどもの成長応援プロジェクト」（こくみん共済「こども保障タイプ」の加入件数に応じたなわとび・長なわの寄贈）を継続展開しました。

また、防災・減災等の地域に根ざした活動を通じて、協力団体・共創パートナー団体との共創活動をすすめました。

3. 業務・経営の姿 ～最適な体制、人財の活躍、さらに健全な経営～

(1) 共済事務・お支払い業務の高度化・効率化

お役立ちDXの取り組みを通じて、共済事務・共済金お支払い業務のデジタル化を進めました。
※お役立ちDX・・・デジタル社会における生活・事業環境の変化を見据え、時代にあわせた事業のあり方にむけて、デジタル技術を活用して変革をおこなう、こくみん共済 coop 総体として推進する取り組み。

(2) 損害調査業務の抜本改革の取り組み

損害調査業務の高度化・効率化、サービス向上にむけて、2022年10月に東京海上日動火災保険株式会社との共同出資会社「共同事務調査サービス株式会社」を設立しました。

4. 新型コロナウイルス感染症への対応

新型コロナウイルス感染症を原因とした死亡・入院・通院等に対する生命系共済金として、2022年度（2022年6月1日～2023年5月31日）に約305億円をお支払いしました。そのうち、「みなし入院」による入院共済金は、約284億円のお支払いとなりました。

5. 大規模災害への対応

2022年9月に発生した台風14号など大規模災害への対応では、ご加入者がご請求手続きを簡便におこなっていただけるよう、自己申告書と修理見積書等によるご請求手続きを基本としながら、訪問を希望されるご加入者には感染症対策を施した上で被災状況を現地調査し、一日も早い共済金のお支払いに努めました。

※本資料の数値は四捨五入して表記しています。

II. 事業および決算の概況

1. 事業の概況

契約高は779兆円、受入共済掛金は5,409億円、契約件数は2,913万件、契約口数は39.1億口となりました。

2. 損益の概況

(1) 経常収益

経常収益は、6,380億円（前期比174億円減）となりました。

(2) 経常費用

経常費用は、5,771億円となりました。このうち、支払共済金は、3,455億円（前期比344億円増）となりました。

(3) 資産運用

資産運用純益は、505億円（前期比49億円減）となり、運用利回りは1.39%となりました。

(4) 経常剰余金

経常剰余金は、609億円（前期比174億円減）となりました。

(5) 特別損益

特別損失として、保有資産の価格変動リスクに備えるための価格変動準備金など 25 億円を計上しました。

(6) 割戻金

組合員（契約者）への割戻金の総額は 238 億円（前期比 74 億円減）となりました。

(7) 当期剰余金・当期未処分剰余金

当期剰余金は、248 億円（前期比 23 億円増）となり、当期に取り崩した任意積立金などを加えた当期未処分剰余金は、317 億円（同 18 億円増）となりました。

3. 剰余金処分

当期未処分剰余金 317 億円に対し、剰余金処分類として、法定準備金 50 億円、任意積立金 248 億円の合計 298 億円計上し、次期繰越剰余金は、20 億円となりました。

4. 財務の概況

(1) 総資産

総資産は、4 兆 293 億円（前期比 72 億円減）となりました。このうち運用資産は、3 兆 6,277 億円（同 123 億円減）となりました。

(2) 負債

負債は、3 兆 5,194 億円（前期比 157 億円減）となりました。このうち、共済契約準備金は、3 兆 3,219 億円（同 65 億円減）、価格変動準備金は、1,102 億円（同 23 億円増）となりました。

(3) 純資産

純資産は、5,099 億円（前期比 86 億円増）となりました。このうち、会員資本は、5,270 億円（同 247 億円増）となりました。

5. 主な経営指標について

(1) 修正自己資本

修正自己資本は、1 兆 721 億円（前期比 90 億円増）、修正自己資本比率は、26.6%となりました。

(2) 基礎利益

費差益は 10 億円、利差益は 17 億円、危険差益は 970 億円となり、基礎利益は、996 億円（前期比 310 億円減）となりました。

(3) 支払余力比率

支払余力比率は、2,241.9%（前期比 50.8 ポイント増）となりました。

(4) 実質純資産額

実質純資産額は、1 兆 6,277 億円（前期比 836 億円減）となりました。

<こくみん共済 coop>

正式名称：全国労働者共済生活協同組合連合会

たすけあいの生協として1957年9月に誕生。「共済」とは「みんなでたすけあうことで、誰かの万
一に備える」という仕組みです。少子高齢社会や大規模災害の発生など、私たちを取り巻く環境が
大きく変化しているなか、こくみん共済 coop は、「たすけあい」の考え方や仕組みを通じて「み
んなでたすけあい、豊かで安心できる社会づくり」にむけ、皆さまと共に歩み続けます。

◆こくみん共済 coop たすけあいの輪のあゆみ：<https://www.zenrosai.coop/web/ayumi/>



たすけあいの輪をむすぶ

<リリースに関する問い合わせ先> こくみん共済 coop ブランド戦略部
〒151-8571 東京都渋谷区代々木2-12-10 電話：03-3299-4232 / Email: koho@zenrosai.coop

<ご掲載・ご取材に関するお問い合わせ先>
株式会社ユース・プランニング センター 担当：藤井、河名、川上
Tel: 03-6821-8699 / Fax: 03-6821-8869
藤井: 090-7900-7866 / s-fujii@ypcpr.com
河名: 090-7900-2756 / k-kawana@ypcpr.com